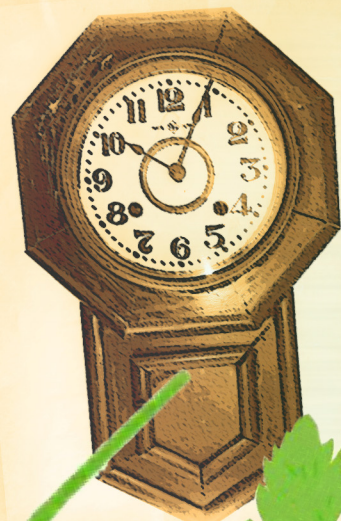


民具たちの聞いた声



2024 伊豆市資料館 企画展
1/5(金)~6/26(水)



~伊豆の言葉とともに~



続・民具たちの聞いた声 ~伊豆の言葉とともに~

人は日々の暮らしの中で様々な道具を使います。「民具」と呼ばれるそれらの道具は衣・食・住、あるいはそれを越えて、人の身近に存在し続けました。人とともに時を過ごしたこれらの道具たちは、今ではもう触れることのできない過去の人々の言葉をも聞いてきたことでしょう。

本展では、昨年開催した「民具たちの聞いた声」展で紹介しきれなかった資料を含めて、伊豆の言葉や子どもたちの作文とともに展示します。

学校がお帰りに帰って家に帰り元気よ

入っていきは、はっとしまし

たのです。私はいれしくで

顔をしています。私は

ここにきて私の頭

かたにやわらかみ

ようにこころし

おとくさんが

かばいをあけ

けました。中

、帰りのく

いなるかなと

からおぼ

分であみや

カチがまだあ

は、「いつも正

おもちを

んな遊びに

さんもとど

ね。」とおか

ぎやかです。私はいつも

どけえらを摘む?

貸してよ。

お帰りなさい、おかあさん。

湯たんぽ、のくといねえ。

伊豆市資料館常設展

常設展では、伊豆市の郷土に関する資料を展示しています。



人面把手 (上白岩遺跡出土)

土器の把手として付けられていたと考えられています。特殊な人面型をしているところから、祭祀に用いられた土器とも言われています。

大型有孔虫レビドサイクリナの化石を展示しています。この化石の発見により、伊豆半島が南の海からやってきたことが分かりました。また、他にも様々な化石を展示しています。



レビドサイクリナ



貝の化石

かぞく

おかいこさま

くらし

こころ

ろ



ちゃぶ台



糸車



ざぶとん座



箱眼鏡

昭和のお茶の間には、どんな物語があったでしょう。「かぞく」のいたお茶の間に思いを馳せて、再現します。

かつて日々の「くらし」の中で使われた、少し不思議なかたちの道具たちを紹介し

お正月、

すだらもねえやあ。

おかいこさんは、ちいさいね。

やまめだあじや。

とびつくらで一等

人の「こころ」を通してみた民具や、それにまつわる伝説、モノを紹介します。

伊豆市資料館アクセス

自動車：国道136号修善寺横瀬交差点より伊東方面へ約10分
電車・バス：伊豆箱根鉄道「修善寺」駅よりバス約10分
(伊東方面「白岩」バス停下車)



伊豆市資料館 IZU LOCAL HISTORY MUSEUM